

第41回焼津みなとマラソン大会

～地域とともに歩む春の一大イベント～

4月5日（日）、焼津漁港新港において、第41回焼津みなとマラソン大会が開催されました。北は北海道、南は沖縄まで、全国から集まった約7千人のランナーが、潮騒を感じながら、桜咲く焼津のコースで健脚を競い合いました。

昨年度に引き続き完走率が非常に高く、記録面においても充実した、ハイレベルな大会となりました。



第38回大学対抗ペアマラソン大会兼関東インカレハーフマラソン

～積み重ねが結実したハイレベルな舞台～

例年、焼津みなとマラソン大会と同時開催している大学対抗ペアマラソン大会は、各大学の上位2名の合計タイムで順位を競う独自のルールにより、箱根駅伝常連校をはじめとする国内トップクラスの大学が競い合うハイレベルな大会です。

第38回を迎えた今回は、これまで積み重ねてきた取り組みが評価され、関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）ハーフマラソン競技を併催する運びとなりました。

第105回を迎える関東インカレは、関東学生陸上界において、長い歴史と高い権威を有する大会であり、市民マラソン会場での開催は非常に珍しい取り組みです。

本大会としても初めての試みとなり、両者にとって大きな挑戦となりました。

起伏の少ない焼津のコースは大学生にとっても高いパフォーマンスを発揮しやすい条件を備えており、レースでは山梨学院大学のブライアン・キピエゴ選手が終始先頭を譲らぬ走りで優勝を果たし、総合順位でも同大学が頂点に立ちました。さらに、2位の選手も大会新記録を更新するなど出場選手全体のレベルの高さが際立ち、大学対抗ペアマラソンにおいても大会新記録が大きく更新される歴史的な大会となりました。

今後も今回の成果を踏まえ、さらなる大会の充実に向けて準備を進めてまいります。



大漁旗贈呈式

～焼津らしさが彩る大会の締めくくり～

4月14日（火）、市役所海街ホールにおいて、焼津みなとマラソン大会の開催にあたり制作された大漁旗の贈呈式が行われました。

本大漁旗は、静岡第一テレビによる大会生中継に際し、スポンサー企業の協力のもと制作されたもので、大会当日は会場を彩るシンボルとして掲出されました。

その後、市役所海街ホールでの展示を経て、市民スポーツ祭総合開会式にあわせて焼津市総合体育館へ移設され、現在も掲示されています。

